

平成24年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 西浜中学校
校長氏名	井谷 正人
作成日	平成25年 2月 14日

1 教育目標

「創造力に富んだ心豊かでたくましい生徒の育成」「自ら学び、ともに生きる」

2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標【P】	共育コミュニティ事業の推進。西浜教育協議会の拠点校として、同窓会組織「浜友会」やPTAなど各種団体と協力しながら地域を育て生徒を育てあう学校。	生徒会活動を核とした体験的学習の推進。キャリア教育の充実。豊かな体験活動を通して、人の心のいたみがわかるなど豊かな感性を養い協力し合う生徒の育成。市民性を育てる教育の推進。	自ら課題を求め、よりよく解決する意欲を持ち、互いにみがきあう生徒の育成。
取組の状況【D】	授業参観、PTA総会、部活動顧問会、吹奏楽部コンサート（保護者・地域に開放）。サマーフェスティバル（同窓会主催。PTA・生徒会・部活が協力）。体育大会・文化祭等の学校開放月間での地域への案内配布。共育コミュニティ事業の参加・協力。	生徒会活動を核とした体験的学習の推進。いじめなくそうデー、防犯・防災、障害者理解、エコ活動、PTAや浜友会との交流。1年生の校外学習や2年生の職場体験等を通じたキャリア教育の実践。市民性を育てる教育の実践。	朝の基礎的学習の時間の実践。わかりやすい授業実践のための指導工夫改善。特別支援教育の理解・充実のための研修。基礎学力充実のための補習や個別指導。不登校生については、スクールカウンセラーを中心とした取り組みをすすめてつつ、関係機関との連携を進める。
（評価結果【C】）	学校開放月間では、500名以上の参加者があり、保護者や地域の人々も学校を知る良い機会として評価している。同窓会組織「浜友会」の協力により、文化祭における取り組みやあいさつ運動などの日常的な活動を積み重ねることができた。	AED認定講習会を保健委員及び体育系部活動代表を対象に実施。障害者家族とのつながり文化祭参加。プルタブの回収運動、森林教室参加、水軒浜の植栽、職場体験、部活動による学校清掃ボランティア等、多くの体験的な活動を実施・参加できた。	夏休み期間中や定期テスト前に行った補習学習は全学年実施した。現職教育では防災教育や新教育課程の全面実施に向けての理解を深めることができた。不登校生のなかでも、別室登校やふれあいセンター等への登校が増えてきた。
改善方法【A】	学校、PTA、浜友会の連携のもと三者のバランスのとれた行事計画を進めていきたい。	市民性の育成は社会科の授業で地域の歴史や特色、現在の課題を学習し、地域を愛する心の育成を図るとともに浜友会やPTAなどと連携しボランティア活動に取り組めた。今後もより多くの体験の機会を設けたい。	わかりやすい授業実践のため引き続き研修を深めていきたい。また、基礎学力の充実に向けて、長期休業中における取り組みの期間の拡大を考えていきたい。朝の基礎的学習の充実。特別支援教育への理解・充実をはかる。

4 その他の課題

- 特別支援教育の充実……基礎・基本となる学力の定着をはかる取り組みを充実させる。
- 人権教育・道徳教育の充実により、他者へのかかわりや規範意識、思いやりの心を育てる取り組みを強める。